

学習指導要領に示された本単元に関わる目標及び内容等

1 外国語活動の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 英語の目標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表] の三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1の(3)に示す資質・能力を育成する。

- (1) 聞くこと
 - ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。
 - イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
- (3) 話すこと [発表]
 - イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

3 英語の内容

- (1) 英語の特徴等に関する事項
実際に英語を用いた言語活動を通して、次の事項を体験的に身に付けることができるよう指導する。
 - ア 言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。
 - イ 日本と外国の言語や文化について理解すること。
- (ア) 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。
- (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項
具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどを表現することを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合うこと。

4 Let's Try!に示された単元目標

- ・多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分の好みを伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

第3学年西組 外国語活動学習指導案

学習指導者 滝井 康隆

1 単元「すきなものをつたえよう ～I like blue.～」について

(1) 目指す子供の姿

【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

自分の好みを紹介するために、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、日本語と英語の音声等の違いに気付き、色やスポーツ、食べ物などの好みを伝えたり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。そして、相手に伝わるように工夫しながら自分の好みを紹介し合う中で、他者への関心を高め、学んだ表現を使って交流を続けている。

本単元では、自己紹介によって自分の好きな色やスポーツ、食べ物の好みを紹介する活動を行う。自分の好みを紹介するという目的に応じて、「I like blue.」「I don't like red.」などの自分が英語で伝えることができる言葉を使って自分の考えを表現していく。その中で、「サッカー」と"Soccer"や「プリン」と"Pudding"などの日本語と英語の発音の仕方やリズムの違いに気付き、何度もやり取りを重ねていくうちに表現に慣れ親しんでいく。そして、自らの考えを正確に伝えるためにゆっくり発音したり、カードを見せたりしながら"Do you like red?" "No, I don't. I don't like red."などと、学んだ表現を使い交流していく。互いの好きな色について聞き合った子供たちは、その違いに興味をもち、「友達の好きなスポーツは何か」「友達は自分と同じように、牛乳は嫌いか」などと、友達にほかの好みも聞いてみたいという関心を高め、「Do you like soccer?" "Yes, I do. I like soccer."などとスポーツや食べ物についても聞き合っていく。このような活動の中で、HRTや友達のよりよい伝え方を取り入れたり、他者の好みの多様さに気付いたりしていく。そして、英語を使って、動物や教科などほかの好みについても聞き合おうとしたり、ほかの友達とも聞き合おうとしたりしていくだろう。

(2) 子供の実態

メタ認知に関する実態調査によると、35名中10名の子供が自らの学びの成果を客観的に見つめにくく、課題設定場面において受け身になっている様相が見られる。これらの子供たちは、自らが解決した課題と解決すべき課題とを明確に分けて理解しにくいと考えられる。教科に関する実態調査によると、14名が苦手意識をもっており、そのうち11名が英語を話すことに不安を感じている。また、学習中に分からないことがあっても何もしないときがあると答えた子供が14名いることが分かった。どのようにやり取りすればよいか分からず、活動に参加しにくく戸惑ってしまっていると考えられる。

一方、外国語活動が好きだと答えた子供は28名おり、友達と会話などのやり取りを行う場面では、ほとんどの子供たちが積極的に取り組むことができている。

(3) メタ認知を促す働きかけ及び個の気質に応じた支援

① 課題設定以前【プランニングタイム】

学習がどこまで進んでいて、本時の課題は何かを確かめやすくするために、補助黒板に学習計画を掲示する。この学習計画は、子供たちと作成し、単元途中で「もう少し発音練習をしたい」などの思いが高まった場合には練習の時間を増やすよう計画を変えるなど、子供たちの意見によって柔軟に変えていく。単元の1時間目に互いの捉え方が違うことに気付いた子供たちは、互いのことをもっと知りたいという気持ちを高め、「英語で自分の好みを紹介しよう」という目標を共有する。そして、それを解決するために自分たちが学ばなければならないこと、練習する必要があることを考えて計画を立てる。作成した計画は補助黒板に掲示し、常に子供たちが確認できるようにしておき、課題設定の際には指し示しながら前時の復習をする。また、この学習計画の横に、単元を通して学習してきた「I like ~.」や「I don't like ~.」などの英語での表現方法や、「Blue」、「Baseball」などの英単語を掲示する。そうすることで、子供たちは学んできたことを生かしながら学習に取り組むことができると考える。(1～4時間目)

本時では、学習計画を確認し、前時までに色やスポーツ、食べ物などの好みの表現の仕方を学んだことを想起させ、本時は互いに好みを聞き合いたいという意欲を高め、学習に向かっていく。

② 課題解決中【レファレンスタイム】【インタラクティブタイム】

実際の活動に入る前に、HRTとママーズとの間のやり取りを見る。その時、ママーズが"Yes I do."の後に、"I like ~."と自らの好みを紹介していることやジェスチャーをしていることに気付かせ、それらを取り入れ、自らの伝え方をよりよくできるようにする。

レファレンスタイムで学んだよいやり取りのモデルを思い出しながら、互いの好みを聞く活動を行う。やり取りの際には、友達がジェスチャーをしていることや"Me, too."などの表現を使っていることに気付かせ、それらを自分の伝え方にも取り入れ、よりよい伝え方にしていく。(2, 3時間目)

また、英語を話すことに不安を感じている子供たちがスムーズに活動に取り組むことができるように、ママーズに事前に支援を依頼しておく。活動が始まった際には隣に寄り添い子供が安心感を感じられるようにするとともに、発音の仕方や伝え方などをアドバイスしてもらう。子供たちとは、活動中には自由に発音の仕方を聞きに行ってもよいことを共通理解しておき、自分から聞きに行けるようにしておく。

③ 課題解決後【振り返りグラフ】

本時の学習を振り返り、できたことについて考える活動を設定する。「友達とたくさんやり取りできた」や「発表や活動に取り組めた」などといった項目を示したグラフに記録していく。外国語活動全体を通して記録していくことで、自分がよく頑張っていることに気付くことができる。(1~4時間目)

ジェスチャーだけで伝えられた。(5/24)	(5/25)	(5/26)	(5/27)
いろいろな言い方があった。(5/21)	(5/22)	(5/23)	(5/24)
いろいろな言い方を覚えてきた。(5/14)	(5/15)	(5/16)	(5/17)
感想 うれしかったこと	友達とたくさんやり取りできた。	発表や活動に取り組めた。	先生の発音をよく聞けた。

【振り返りグラフ】

本時では、これまでの学習での積み上げを想起しながら、自分ができたことを考えて記録していくことで、できたことは続けて取り組み、できなかったことは次時に挑戦しようとする意欲を高める。

2 単元計画 (総時数 4時間)

本単元では、段階的に"I like ~."や"I don't like ~."の表現を学ぶとともに、"Do you like ~?"の表現を使って、互いに好みを聞き合う交流を重ねることで、表現に慣れ親しめるようにする。また、色の英単語から導入し、次にスポーツ、食べ物と少しずつ英語での表現を増やしていけるようにする。

次	学習の流れ及び主な子供の意識
第一 次	<p>① 虹を描いて紹介しよう</p> <p>自由に色を使って虹を描く活動を通して、英語での色の言い方について知る。デジタル教材によって、世界の子供たちの虹を見ることで、多様な考え方があることに気付くとともに、"I like ~."の言い方を知る。さらに、完成させた虹を友達と交流することで、友達の考えにも興味をもち、互いに好みを聞いてみたいという意欲を高め、自分の好みを紹介するという目標に向かって学習計画を立てる。</p>
	<p>② 自分の好みを英語で言う練習をしよう</p> <p>前時に学んだ色の言い方を練習する活動を通して、"I like ~." "I don't like ~."の言い方を習得する。デジタル教材を使って、登場人物の好みを聞く活動を行い、スポーツや食べ物の英語での言い方や"Do you like ~?"の言い方を知る。その後、「新しい単語を使って自分の好みを伝えたい」と思った子どもは、積極的に学んだ単語を使いながら自分の好みを言う活動を行い、英語での表現に慣れ親しんでいく。</p>
第二 次	<p>③ 友達に好みを聞いてみよう (本時3/4)</p> <p>前時までに学習した、色やスポーツ、食べ物の英語での言い方を復習した後、デジタル教材を使って登場人物の好みを予想し聞き取る活動を行い、本時の見通しをもつ。そしてHRTとともに、ママーズに好みを尋ねる活動を通して、色やスポーツ、食べ物の英語での言い方と、"Do you like ~?"の言い方に慣れていく。その後、それらの言い方を使って、友達にも好みを尋ねる活動を行う。</p>
	<p>④ 自分の好みを紹介しよう</p> <p>これまでの学習で習熟してきた英単語や"I like ~." "I don't like ~."の言い方を使って自分の好みを紹介する。その際、自己紹介カードを作成し、自分の好みを伝えやすくする工夫を行う。互いの好みを聞き合うことで、互いの良さを再確認したり、意外な一面に気付いたりした子供たちは、これからも他者に興味をもって、英語でのやり取りを続けていく。</p>

3 本時について

目 標	友達と好みを伝え合う活動を通して、日本語と英語の違いに気付き、色やスポーツ、食べ物などの言い方や好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
--------	--

学習活動	子供の意識									
<p>1 好みを尋ねる練習をし、学習課題を確認する。 【プランニングタイム】</p>	<p>前の時間は色やスポーツ、食べ物の英語での言い方を勉強したよ。 "Red""Blue""Soccer""Baseball""Pudding""Ice cream"などがあったね。</p> <p>好きかどうかを聞くときは、"Do you like ~?"を使って、答えるときは、"Yes, I do." "No, I don't."の言い方を使うのだったね。</p> <p>登場人物は、僕と違ってタマネギが好きだったよ。先生や友達はどうかかな。先生や友達にも聞いてみたいな。</p>									
友達に好みを聞いてみよう										
<p>2 HRTとママーズのやり取りを見て、よりよい交流の仕方を知る。 【レファレンスタイム】</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"> <p>私は、"Blue"が好きだよ。ママーズは、どうかかな。好きだと思うよ。</p> <p>A : Do you like blue? B : Yes, I do. I like blue. A : Me, too.</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>僕は "Dodgeball" が好きだけど、ママーズは嫌いかもしれない。</p> <p>A : Do you like dodgeball? B : No, I don't. I don't like dodgeball.</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>僕は、"Green pepper" が嫌いだよ。ママーズも嫌いだと思うよ。</p> <p>A : Do you like green pepper? B : Yes, I do. I like green pepper.</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>私と同じだ。同じ時は Me, too. と言えばいいんだね。</p> </td> <td> <p>僕と同じだったよ。ドッジボールではなく dodgeball と言うといいね。</p> </td> <td> <p>僕と違って好きだったよ。先生みたいにうなずきながら聞こう。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>ママーズの好みが分かったよ。ほかの人の色やスポーツの好みはどうかかな。いろいろな友達に聞いてみたいな。ママーズや先生みたいにジェスチャーをしたり、返事をしたりしながらやり取りをしてみよう。</p> </td> </tr> </table>	<p>私は、"Blue"が好きだよ。ママーズは、どうかかな。好きだと思うよ。</p> <p>A : Do you like blue? B : Yes, I do. I like blue. A : Me, too.</p>	<p>僕は "Dodgeball" が好きだけど、ママーズは嫌いかもしれない。</p> <p>A : Do you like dodgeball? B : No, I don't. I don't like dodgeball.</p>	<p>僕は、"Green pepper" が嫌いだよ。ママーズも嫌いだと思うよ。</p> <p>A : Do you like green pepper? B : Yes, I do. I like green pepper.</p>	<p>私と同じだ。同じ時は Me, too. と言えばいいんだね。</p>	<p>僕と同じだったよ。ドッジボールではなく dodgeball と言うといいね。</p>	<p>僕と違って好きだったよ。先生みたいにうなずきながら聞こう。</p>	<p>ママーズの好みが分かったよ。ほかの人の色やスポーツの好みはどうかかな。いろいろな友達に聞いてみたいな。ママーズや先生みたいにジェスチャーをしたり、返事をしたりしながらやり取りをしてみよう。</p>		
<p>私は、"Blue"が好きだよ。ママーズは、どうかかな。好きだと思うよ。</p> <p>A : Do you like blue? B : Yes, I do. I like blue. A : Me, too.</p>	<p>僕は "Dodgeball" が好きだけど、ママーズは嫌いかもしれない。</p> <p>A : Do you like dodgeball? B : No, I don't. I don't like dodgeball.</p>	<p>僕は、"Green pepper" が嫌いだよ。ママーズも嫌いだと思うよ。</p> <p>A : Do you like green pepper? B : Yes, I do. I like green pepper.</p>								
<p>私と同じだ。同じ時は Me, too. と言えばいいんだね。</p>	<p>僕と同じだったよ。ドッジボールではなく dodgeball と言うといいね。</p>	<p>僕と違って好きだったよ。先生みたいにうなずきながら聞こう。</p>								
<p>ママーズの好みが分かったよ。ほかの人の色やスポーツの好みはどうかかな。いろいろな友達に聞いてみたいな。ママーズや先生みたいにジェスチャーをしたり、返事をしたりしながらやり取りをしてみよう。</p>										
<p>3 友達の好みを予想し、聞き合う。 【インタラクトタイム】 (1) 班で (2) 全体で</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>私は、△△が嫌いなんだけど、友達は好きかもしれないよ。</p> <p>A : Do you like ~? B : Yes, I do. I like ~. or No, I don't. I don't like ~.</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>ニンジンってなんていうのだったかな。ママーズに聞いたら "carrot" って分かったよ。</p> <p>友達がジェスチャーをしながら答えてくれて分かりやすかったよ。僕もジェスチャーをしながら答えてみよう。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>友達は、自分と同じだったよ。</p> </td> <td> <p>自分の好みをうまく伝えられたよ。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> <p>もっとほかの友達にも聞いてみたいな。</p> </td> </tr> </table>	<p>私は、△△が嫌いなんだけど、友達は好きかもしれないよ。</p> <p>A : Do you like ~? B : Yes, I do. I like ~. or No, I don't. I don't like ~.</p>	<p>ニンジンってなんていうのだったかな。ママーズに聞いたら "carrot" って分かったよ。</p> <p>友達がジェスチャーをしながら答えてくれて分かりやすかったよ。僕もジェスチャーをしながら答えてみよう。</p>	<p>友達は、自分と同じだったよ。</p>	<p>自分の好みをうまく伝えられたよ。</p>	<p>もっとほかの友達にも聞いてみたいな。</p>				
<p>私は、△△が嫌いなんだけど、友達は好きかもしれないよ。</p> <p>A : Do you like ~? B : Yes, I do. I like ~. or No, I don't. I don't like ~.</p>	<p>ニンジンってなんていうのだったかな。ママーズに聞いたら "carrot" って分かったよ。</p> <p>友達がジェスチャーをしながら答えてくれて分かりやすかったよ。僕もジェスチャーをしながら答えてみよう。</p>									
<p>友達は、自分と同じだったよ。</p>	<p>自分の好みをうまく伝えられたよ。</p>									
<p>もっとほかの友達にも聞いてみたいな。</p>										
<p>4 本時の学びの振り返りをする。 【振り返りグラフ】</p>	<p>今日は、「よく聞く」「発表」「やり取り」をすることができたかな。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"> <p>全部することができたよ。</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>僕は、「よく聞く」についてはいつもできているよ。</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>私は、「発表」について、あまりできていないよ。これをもっと頑張ると、英語がもっとできるようになりそう。</p> </td> </tr> </table> <p>次の時間は自己紹介だ。ほかの友達の好みを聞くことができそうだよ。</p>	<p>全部することができたよ。</p>	<p>僕は、「よく聞く」についてはいつもできているよ。</p>	<p>私は、「発表」について、あまりできていないよ。これをもっと頑張ると、英語がもっとできるようになりそう。</p>						
<p>全部することができたよ。</p>	<p>僕は、「よく聞く」についてはいつもできているよ。</p>	<p>私は、「発表」について、あまりできていないよ。これをもっと頑張ると、英語がもっとできるようになりそう。</p>								

評価	<p>友達の好みについて予想したことを基に、これまで学習した表現を使って、友達と互いの好みを聞き合うことで、日本語と英語の違いに気付き、相手に伝わるように工夫しながら、交流を続けている。</p> <p style="text-align: right;">【方法：様相・ワークシート】</p>
----	--